

講座名	<b>【選択】</b> 教育臨床の課題解決の糸口を探るⅠ				
開講日	2019年8月7日(水) (予備日8月10日)				
時間数	6時間	講座の形態		講義	
受講予定者数	80名	履修認定対象 職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な受講対象	全教員
講座の到達目標	<p>講義1：HIV、性感染症の現状、思春期の性、性的指向、性行動、そして感染者・患者との共生に関する啓発のあり方を理解する。</p> <p>講義2：教室内外での子どもの危機に気づくことができ、また、子どもの生命の危機に対して、救急手技等の救急車到着までの対応に自信をもつことができる。</p>				
講座の概要	<p>講義1：HIV/AIDSは若年層(15-24歳)では80%近くを同性間性的接触が占め、また近年急増の梅毒は若い年齢層(女性)に多い。講義ではHIVや性感染症の現状、セクシュアルヘルス、HIV陽性者と取組む啓発プログラムを紹介する。</p> <p>講義2：教室内外での子どもの事故等にどう対応する？子どもの危機への気づき、子どもの緊急事態に備えての心構え、生命の危機に対して医療機関につなぐまでの自信材料を理論的に紹介する。</p>				
講座の計画	1時限	<p>講義1：HIV／性感染症とセクシュアルヘルス —HIV陽性者の手記を用いた啓発—</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 HIV/エイズ、性感染症の流行の現状とその背景</li> <li>2 思春期の性と多様な性、性的指向の理解と対応</li> <li>3 日本のHIV/エイズへの予防啓発の取り組み</li> <li>4 HIV陽性者との共生：Living Togetherによる啓発</li> </ol>			
	2時限				
	3時限	<p>講義2：Kids with Life ～教育現場の子どもに多い事故と応急手当～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもに多い事故と対応(演習1)</li> <li>2 子どもに多い症状とケア</li> <li>3 子どもの感染と防御(演習2)</li> <li>4 子どもの虐待と心の手当て</li> <li>5 DVD学習やリフレクション</li> </ol>			
	4時限				
		試験(30分程度)			
修了確認の方法	筆記試験の評価による				
成績評価の視点	講義内容を、自分の考えでまとめているか				
備考	1時限は90分 テキストは使用しない。必要な資料は授業時適宜配布する。				